



ぽっかぽか うさぎ組



先日は保護者会へのご参加ありがとうございました！今回のグループワークのテーマである『子どもに対してのやさしさ』について各々考えて思いをお話ししていただきありがとうございました。中でも多かったのが「3歳まではある程度わがままを聞いてあげる。」ということでした。理解力が上がり、言葉でのコミュニケーションが取りやすくなる時期という一つの節目になっているようですね。年齢は具体的な節目とはなりますが、発達の個人差は少なくありません。急な対応の変化ではなく**段階的な変化**を見せたりと、ぜひご家庭でも色々な関わり方を試してお子さんの反応や様子を楽しんでください。またその結果を職員に教えてもらえるととても嬉しいです！



ついに幼児！

もうすぐぞう組。幼児になるというまた一つの節目ですね。日々の流れは大きくは変わりませんが、子ども達からしたら部屋が変わる、大人が変わる、新入園児が入る、という変化があり不安定な様子を見せることがあるかもしれません。こちらも全力で寄り添いますのでご家庭でも安心できる声掛けをよろしく願いたします。

うさぎ組での成長…！

この一年間も子ども達は大きな成長を遂げました。その中でも大きく二つあると感じております。

一つ目は『**自分でやる**』こと。子ども達自身で出来ることが多くなり、集団生活の中で友達の真似から意欲に繋がっています。発達に沿って自分で挑戦してもらい、難しかったら大人を頼るというプロセスを大事にしてきました。その中でも褒めることや、次の意欲を引き出す声掛けを続けてきたのが「自分でやる」に繋がったと思います。

二つ目は『**他人との関わり合い**』です。園では対大人と対友達に分かれます。対大人ではこれまで通り、要求、困り事、日常会話と関わる場面は同じですが、言葉でのコミュニケーションが増えました。子ども達が伝えたい思いが言葉で表現しやすくなると同時に、理解力も上がっているので大人の話も聞けることが増えています。ご家庭でもコミュニケーションがまた一段と楽しく感じた時期だったのではないのでしょうか。

対友達ではより大きな成長を遂げています！これまでは言葉で伝えることが難しく泣いたり手を出して訴えることもありました。その時に我々は**“気持ちの言語化”**を意識して関わってきました。「〇〇したかったんだね」「悲しい気持ちだね」「嬉しいね」「ワクワクするね」等と至る場面で伝えていきました。これを繰り返すと子ども達同士でも言葉でのやり取りが始まり、豊かな感受性、共感を持って相手の気持ちも考えつつ会話が進行します。そんな中でも困ったときは大人が仲介して伝え方と受け止め方の援助をします。

保護者会でも伝えましたが、子ども達同士の会話ってとんでもなく面白いです！！時に大人でも思いつかない発想があり、時に内容はハチャメチャでも本人たちは納得していつの間にか解決していたりと…。

これからも新しい環境となり使える言葉や関わる人が増え、子ども達同士の関わり合いもより面白くなる時期です。幼児になってもその先の人生でも素直な気持ちを持ちながら素敵な心で他人と関わられるような環境を作り続けたいと考えております。